

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 4 月 30 日 (2025.4.30)

【国際公開番号】 WO2024/042837
【出願番号】 特願 2024-542606 (P2024-542606)
【国際特許分類】

H 0 5 B 47/155(2020.01)
H 0 5 B 47/17(2020.01)
F 2 1 S 2/00(2016.01)
F 2 1 V 23/04(2006.01)
F 2 1 V 9/40(2018.01)
F 2 1 V 23/00(2015.01)
F 2 1 Y 115/10(2016.01)

10

【F I】

H 0 5 B 47/155
H 0 5 B 47/17
F 2 1 S 2/00 4 8 0
F 2 1 V 23/04
F 2 1 V 9/40 4 0 0
F 2 1 V 23/00 1 4 0
F 2 1 Y 115:10

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 2 月 14 日 (2025.2.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 8 4
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0 0 8 4】

30

また、複数台操作モードにおいて、例えば、照明装置 1 __ 1 が選択されているとき、照明装置 1 __ 2 に対応するデバイス選択スイッチ D S E L を選択すると、操作対象デバイスが照明装置 1 __ 1 と照明装置 1 __ 2 との 2 つとなる。その後、再度照明装置 1 __ 2 に対応するデバイス選択スイッチ D S E L の選択を解除すると、操作対象デバイスから照明装置 1 __ 2 が除外され、操作対象デバイスが照明装置 1 __ 1 の 1 つのみとなる。あるいは、操作対象デバイスが照明装置 1 __ 1 と照明装置 1 __ 2 との 2 つであるとき、照明装置 1 __ 1 に対応するデバイス選択スイッチ D S E L の選択を解除すると、操作対象デバイスから照明装置 1 __ 1 が除外され、操作対象デバイスが照明装置 1 __ 2 の 1 つのみとなる。すなわち、複数台操作モードでは、制御対象デバイスとして予め登録された複数の照明装置 1 __ 1 , 1 __ 2 , 1 __ 3 , 1 __ 4 , 1 __ 5 のうちの 1 つが操作対象デバイスとして選択された場合に、当該操作対象デバイスが単独操作可能となり、複数の制御対象デバイス（例えば、選択された照明装置 1 __ 1 及び照明装置 1 __ 2 ）が操作対象デバイスとして選択された場合に、選択された複数の操作対象デバイス（例えば、照明装置 1 __ 1 及び照明装置 1 __ 2 ）が同時操作可能となる。

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 9 3
【補正方法】 変更
【補正の内容】

50

【0093】

本開示において、設定変更画面400上における配光形状オブジェクトOBJの形状は、図15A、図15B、図15C、図15D、図15Eに示すように、第1スライダS1及び第2スライダS2の移動に伴い、円形又は楕円形に変化する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0109

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0109】

照明装置1の縦拡散度変化量 ΔS_y が1[%]であるときのXY平面上におけるY方向の基準移動量 P_y は、Y軸と縦拡散度 S_y が100[%]であるときの配光形状オブジェクトOBJの輪郭線との交点をY100、Y軸と縦拡散度 S_y が0[%]であるときの配光形状オブジェクトOBJの輪郭線との交点をY0とすると、下記(4)式で示される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0123

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0123】

図18において、 $n=1$ は、図15Aに示す照明装置1__1の横拡散度 S_x_1 及び縦拡散度 S_y_1 を例示している。また、 $n=2$ は、図15Bに示す照明装置1__2の横拡散度 S_x_2 及び縦拡散度 S_y_2 を例示している。また、 $n=3$ は、図15Cに示す照明装置1__3の横拡散度 S_x_3 及び縦拡散度 S_y_3 を例示している。また、 $n=4$ は、図15Dに示す照明装置1__4の横拡散度 S_x_4 及び縦拡散度 S_y_4 を例示している。このように、制御装置200の記憶回路223には、各照明装置1__nの現在の横拡散度 S_x_n 及び縦拡散度 S_y_n が記憶される。なお、図18では、照明装置1__5($n=5$)における横拡散度 S_x_5 及び縦拡散度 S_y_5 を「**」としている。各照明装置1__nの横拡散度 S_x_n 及び縦拡散度 S_y_n は一例であって、図18に示す例に限定されない。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0137

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0137】

照明装置1__s(1__1)の送受信回路111は、受信した第1設定情報を第2設定情報として記憶回路113に格納する。照明装置1__s(1__1)の電極駆動回路112は、記憶回路113に格納された第2設定情報に応じた駆動電圧を光学素子100の各液晶セル2の各駆動電極10,13に供給する。そして、照明装置1__s(1__1)の送受信回路111は、記憶回路113に格納された第2設定情報を読み出し、制御装置200に送信する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0142

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0142】

照明装置1__sの送受信回路111は、受信した第1設定情報を第2設定情報として記憶回路113に格納する。照明装置1__sの電極駆動回路112は、記憶回路113に格

10

20

30

40

50

納された第2設定情報に応じた駆動電圧を光学素子100の各液晶セル2の各駆動電極10, 13に供給する。そして、照明装置1__sの送受信回路111は、記憶回路113に格納された第2設定情報を読み出し、制御装置200に送信する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0148

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0148】

照明装置1__sの送受信回路111は、受信した第1設定情報を第2設定情報として記憶回路113に格納する。照明装置1__sの電極駆動回路112は、記憶回路113に格納された第2設定情報に応じた駆動電圧を光学素子100の各液晶セル2の各駆動電極10, 13に供給する。そして、照明装置1__sの送受信回路111は、記憶回路113に格納された第2設定情報を読み出し、制御装置200に送信する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0156

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0156】

制御装置200の送受信回路225は、複数台操作モードにおいて操作対象デバイスとして選択されたM個の照明装置1__mに対し、第1設定情報を送信する。具体的に、送受信回路225は、表示上の現在値である横拡散度 S_x 及び縦拡散度 S_y を第1設定情報として($S1x_m = S_x$, $S1y_m = S_y$ 、ステップS207)、当該第1設定情報を複数台操作モードにおいて操作対象デバイスとして選択されたM個の照明装置1__mに送信する(ステップS208)。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0157

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0157】

照明装置1__mの送受信回路111は、受信した第1設定情報を第2設定情報として記憶回路113に格納する。照明装置1__mの電極駆動回路112は、記憶回路113に格納された第2設定情報に応じた駆動電圧を光学素子100の各液晶セル2の各駆動電極10, 13に供給する。そして、照明装置1__mの送受信回路111は、記憶回路113に格納された第2設定情報を読み出し、制御装置200に送信する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0166

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0166】

このように、照明制御装置200aのスライダ200bを操作して1の光学素子100の拡散度を変化させる態様を上記実施形態1と対応させて単体操作モード(第1モード)と称してよい。また、照明制御装置200aの1又は複数のスライダ200bを操作して複数の光学素子100の拡散度を同時に変化させる対応を上記実施形態1と対応させて複数台操作モード(第2モード)と称してよい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

10

20

30

40

50

【補正対象項目名】 0 1 6 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 6 8 】

なお、図 1 9 A 及び図 1 9 B に示す構成においても、実施形態 1 と同様に、各照明装置 1 __ 1 , 1 __ 2 , . . . , 1 __ N とスライダ 2 0 0 b を有する照明制御装置 2 0 0 a とを無線通信手段によって接続する態様も採用可能である。

10

20

30

40

50